

平成 25 年度上下流交流事業

木曾郡植樹祭

【日 時】 平成 25 年 6 月 6 日（木）10：00～13：30

【場 所】 上松町 寢覚の床美術公園

【内 容】 以下のとおり

林業関係者をはじめ、地域住民、下流域住民等幅広く参加を募り、植樹・育樹体験を通じて森林・林業の大切さや森林整備の必要性を普及啓発し、緑豊かな住みよい水源の森林づくりを継続的に推進する目的で、本年も「木曾郡植樹祭」が開催されました。今年は平年より早く梅雨入りしたものの、開催当日は好天に恵まれました。

今回は、上松小学校みどりの少年団、木曾青峰高校生徒のほか、地元林業士会や猟友会、その他緑化推進関係団体合わせて 400 名ほどが参加しました。

この植樹祭には例年下流域からも参加いただいております。今年も愛知中部水道企業団の管内住民と企業団職員合わせて 80 名の方が参加されました。このほか、愛知県犬山市からも 2 名の方にご参加いただきました（うち 1 名は、木曾広域連合で実施した森林ボランティアリーダー研修修了者）。

野外ステージにて行われた開会式典では、主催者あいさつ、来賓祝辞のほか、緑化功労者表彰伝達、地元小学生による「みどりの宣言」等が行われました。

式典終了後は、7つの班に分かれて植樹・育樹作業を行いました。木曾広域連合及び愛知中部水道企業団関係者は、木曾猟友会の方々と共にオオヤマレンゲ・ミツバツツジ・ウメモドキ・ニシキギ合わせて 260 本を植えました。比較的石が多い場所でしたが、予定時間より少し早く作業を終了し、下流域からの参加者は、記念標柱や寢覚の床をバックに記念撮影するなど、周辺の散策を楽しんでいらっしゃいました。

昼食をはさみ、午後は愛知中部水道企業団からの参加者を対象に、シイタケの植菌作業体験が行われました。木曾地方事務所林務課職員をはじめとした上流域参加者の指導により、下流域からの参加者は原木への穴あけ、菌の駒打ち、原木切りの各作業を行いました。

参加者の中には、一昨年の植樹祭で同じ作業を体験され、持ち帰った原木からシイタケが生えたという方もいらっしゃったようで、今回もシイタケが生えてくるよう、原木の保管方法について皆さんで指導員にいろいろ質問しながら、収穫できる日を楽しみに原木を持ち帰られました。

下流域の皆様にも木曾地域の豊かな自然に触れていただきながら、森林整備の大切さを理解していただく貴重な機会でもあり、毎年参加を楽しみにされている方も多いようです。

☆ 当日の様子



開会式典



班別に作業内容を説明



植樹作業の様子1



植樹作業の様子2



作業記念柱と共に記念撮影



椎茸の駒打ち体験（全景）



原木にドリルで穴をあける



木槌で駒を打ちこむ